



一緒に加音ではたらくませんか

お問い合わせ・ご相談

☎ 075-313-5528

npo.kanon@nike.eonet.ne.jp

障害のある人と職員の好き・得意がたくさん詰まった職場です！

加音に通所している利用者さんたちの多くは、自閉スペクトラム症の方々です。一人ひとりとても個性的です。音も一音一音個性的です。色んな個性が加わって楽しいハーモニーができたら良いなと願い「加音」と名付けました。

その由来通り、とても個性あふれる利用者の方々日々「仕事」「施設外就労」「創作」「音楽」「まち美化」など自分たちの好き！得意！を生かして活動しています。職員は利用者の方がのびのびと自信をもって取り組めるよう、安心し、気持ちよく過ごせる環境作りを行っています。職員もまた自分たちの好き！得意！を生かして創作や音楽、PC、製品作りを行っています。

この5年程、利用者さんたちが描く絵画や作品が入賞したり、作品展示される機会がどんどん増えてきました。これも職員たちが日々彼らの得意なこと好きなことを発見したり、彼らに合わせた環境作りを大切にしてきたことが一助になっていると思います。

音楽活動では地域の社会福祉協議会の認知症の方々のためのサロンで演奏したり、近くのスーパーでお客様とジョイント演奏会をしています。彼らの作品・音楽活動をすることが地域福祉への啓発活動へとつながっています。

加音は設立：から12年目の若い施設です。自分たちの活動がそのまま加音の歴史になっていきます。若いからこそ色々な事にチャレンジできます。これから事業を大きくしていくにも若い人たちの感性が何よりも必要だと考えています。

あなたの好き！得意！を加音で大いに発揮してください！

特定非営利活動法人 加音

2009年5月14日設立 11月1日：加音西京極作業所として事業開始

事業内容：障害者総合支援法に基づく就労継続支援事業、生活介護事業、相談支援事業

年商 5670万円（2022年度）

職員 正職員5名 パート・アルバイト職員7名

障害のある人と職員が共に育ち合い、協働しています。

作業所の主役は利用者さんですが、作業も創作活動も障がいを持つ利用者さんだけではうまく進めることはできません。それぞれの障がい特性を踏まえて得意を見抜き、利用者さんが持てる力を存分に発揮できるよう環境を整えるのが私たち支援員の役割です。例えば、口頭での説明が理解しにくい方には絵や文字でコミュニケーションをするなど、ちょっと工夫することで利用者さんは見違えるほどの力を発揮してくれます。意思の疎通がうまくいかず落ち込むこともあります。苦勞があった分、利用者さんと分かりあえた時に大きな喜びを感じます。私たちが利用者さんを支えるだけでなく、逆に利用者さんから支えられ、学ぶことが多々あるのもこの仕事の醍醐味だと思います。

【連携し、情報共有しながらチームで利用者さんを支えたい】私は福祉系学科出身ですが、学生時代に発達障がいの方と働いた経験はなく、入職後に一から学びました。福祉系の知識がない方でも、知ろう、学ぼうという意欲があればいくらかも成長できると思います。専門知識があるに越したことはありませんが、それ以上に大切なのはともに働く仲間とのチームワーク。支援は一人でするものではなく、それぞれが見たことや考えたことを共有し、連携する姿勢が欠かせません。すべてを一人で抱え込み、頑張りすぎるのではなく、チームで利用者さんを支える仕事をしませんか。



(佐々木 輝／加音西京極作業所 サービス管理責任者／2013年入職)

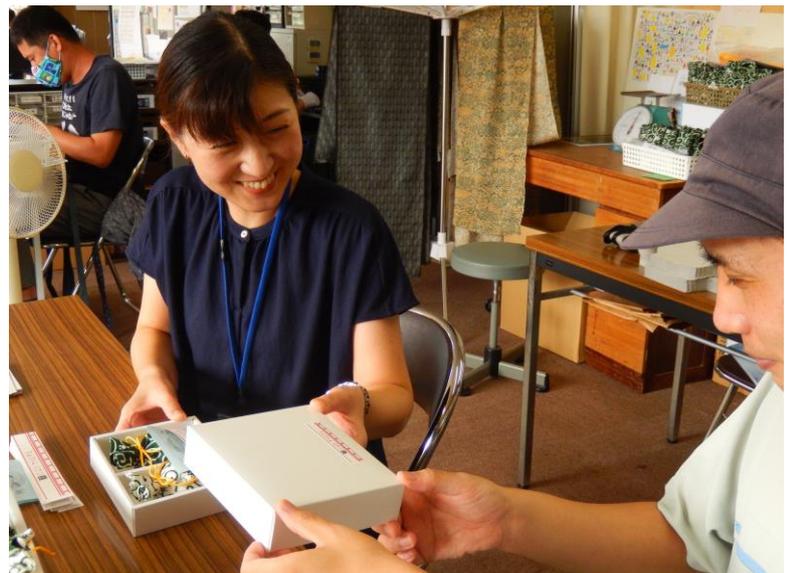


利用者作品

私は、出産・子育てをしながら、いろいろな仕事を経て、2017年10月より加音西京極作業所に入社しました。障害者施設で働くのは初めてだったので、わからない事だらけで戸惑うことも多かったのですが、利用者さんと接するうちに障害があっても無くても同じ人間、充実した生活をしたいのと一緒になるとわかり、とても身近に感じられるようになりました。

ある日、私が得意先へ納品に出発する前、なかなか言葉が出ない利用者さんに、返事は難しいかな？と思いつつも「〇〇さん、いってきます！」と声を掛けました。すると「いってらっしゃい！」とこたえてくださり、飛び上がるほど嬉しかったことを今でも鮮明に覚えています。こうした小さなHappyを、これからもたくさん見つけて頑張っていきたいと思います。

高橋千登世／加音西京極作業所 支援員
／2017年入職



利用者作品

